「長与町新図書館基本計画（案）」に関する意見について

該当頁	項　目	意見及び理由等
1	（1）未来をひらく 3つめ	子育ての等に係る疑問や悩み等を軽減 とありますが、図書館単体というよりは健康センター、子育て支援センター、こども政策課とのコラボなど加えたらいかがでしょうか？（図書館だけでは負担が大きそうと感じため）
4－7	③~⑦まで	「成人、高齢者、障害者、外国人、来館が困難な方」どれにも共通する項目も多いので、あえて分けずにまとめてしまってもよいのではないかと思いました。 これからは多様性も求められますし、枠にくくらない、くくれない方もいると思うので。 以下は基本計画(案)を読んでみた感想なのですが p2 ②交流機能、③地域の課題解決~ 課題の解決、行政の政策の決定、改善などのお手伝いも図書館の役割だと全然知りませんでした。 （現段階でもその役割を担っているのであればすみません💦勉強不足です） 上記もそうですし、図書館の基本業務に加え、新たにレファレンス、レフェラルサービスや、交流の場、新たな企画、個別の対応などなど新しい図書館になることで町民の要望も多岐にわたるのではと思います。そうなったときに、この基本計画全てを網羅する図書館ができるのはとても理想だと思うのですが、人員配置などソフト、ハード面で補いきれるのか少し不安を感じました。 基本計画(案)なのでこれからまた検討されることと思いますが‥ 外国人について対応・サービスをお考えいただいていることは素晴らし

		いと思います。近い将来、おそらく今後 20 年程度でも日本の人口減少・超少子高齢化が顕著になり、社会の維持のためにも外国人の受け入れ拡大は必至で、その人たちも暮らしやすい町を作るためにはお互いの理解を得る場所として図書館が果たす役割があると思いますので、ただ外国語の案内や書籍を少し置くだけではなく、子育て中の外国人町民のための外国語の児童書など、**日本人が必要とするものと変わらないサービス・対応**をお願いしたいと思います。 　また、同じく近い将来のために、16　ページにあった8の(4)、再生可能エネルギーの導入も、時代の流行やポーズではなく、次の世代が生き残るために本当に必要なことと考え、ぜひ実現していただきたいと思います。岩手県紫波町の人気の図書館を含む「オガールプロジェクト」でも、地産のバイオマス燃料や断熱材を使用したエコな町づくりを行っています。長与町にも木材ペレットを作る会社があるそうですし、そのようなものやソーラーパネルなどをうまく活用した脱炭素の図書館を期待します。 　紫波町図書館では「**天井が貼られてないからと言って、本を借りないですか？**」と、天井の材を貼らずにコストカットするなど、様々な工夫がされているそうです。ぜひ、固定観念にとらわれない、削るところは削り、必要なところにコストをかける、新しい図書館をお願いします。
14－15	(2)必要スペースと延床面積	「現図書館と同等規模」とのことだが、15ページ現図書館の各スペースがどこにあるのか、又1階にあるのか2階にあるのかを知らないので、基本情報として現図書館の簡単な見取り図を資料に入れて欲しかった。
11	(1)フロアコンセプト	上記に加え、①～⑩の各々のスペースを新図書館では全て1階に設けるものとして今回の「フロアコンセプト」を考えるのか、あるいは2階も含めて考えてもよいのかわからず、結果として「フロアコンセプト」をイメージしにくかった。

7	3.（1）開架冊数、蔵書構成、管理	「セキュリティゲートを設置し、盗難防止に努めます」荷物の多い来館者の利便性と盗難防止も兼ねて、コインロッカー（基本無料）があるといいかと思う。
3	②レファレンスサービス・レフェラルサービス	こうしたサービスが提供されていることを知らなかった。長与町図書館のスタッフは、とても優秀な方が多いので周知されればいいと思う。
12	②一般開架スペース「フロアコンセプト」	「木の香りが漂う」とあるが、既に「木」で決定ということ？ 英語をカタカナにしただけで、具体的に何を書いて提出して欲しいのか、今ひとつはっきりしない。「レファレンスサービス」「レフェラルサービス」等と同様、まずは「フロアコンセプト」とは何かを説明してもらいたい。
13	大人用トイレ	誰もが利用しやすいトイレ（誰でもトイレ）だと、一般の健常者の方も利用されます。バリアフリートイレは、車いすユーザー、内部障害、ストーマ使用者（人工膀胱、人工肛門）の方々が必要とされているトイレです。設備がないと排泄が難しい人のための限定目的に柔軟に対応する多機能トイレです。LGBTの方でも性別を問わず利用でき、高齢の杖を利用する方、補助が必要な方、発達障害・知的障害のあるお子様の使用も考えられます。
12－13	視聴覚スペース＆グループ学習室	ポータブルプレイヤーの館内貸出の他に、プロジェクタの館内貸出も必要。Wi-Fi設備も必須。
16	循環型社会形成	外の雨水や空気を再利用したエアコン、電気の利用

7	3（1）	蔵書数を大幅に増やす計画となっているが、中身がよくわからない。今でもほとんど借りられていなかったり、全く借りられていない本があると思われる。借りた回数が少ないことが無駄な本であるとは思わないが、どのような本が増えてどのように利用されるのかが大事だと思います。貸出数が見込めないような専門書などは、県立図書館からの取り寄せの活用を推奨することで蔵書の削減になると思う。 人口数から蔵書数を計算するのではなく、利用者数の予測などから必要な蔵書数を予測できないかと思う。 電子図書館の充実を期待しています。
1	基本理念について	図書館は、本来は「本に出会う」ために行く場所で、個人としての行動であると思う。今回の理念を見ると、私は静かで本がたくさんあるというイメージが持てなかった。人々が「出会う、つながる」というのは、公民館活動としては理解できるが、図書館の第一義的な目標にはそぐわない感じがした。「ざわざわと人が入れ替わりする場所」となると、今まで図書館を利用していた人々を遠ざけるのではないだろうか。図書館を利用した人々が、それぞれに人とつながるのはいいが、一番の目標ではないのでは？
6	「学びあう」	「創造と学ぶ場の提供」の方が、図書館を利用する人々に合うと思う。
15		バリアフリー、ユニバーサルデザインは当然のことである。健康センターが下の階か上の階によって、エントランスの使用や児童スペースの在り方が変わると思う。ブックスタートなどを行う共用の場所を作ることにより、図書館の将来の利用者を育てられる。
10	5	町内の各施設にも図書があり、施設によって利用が異なる。それらの図書の利用を統一して、どこの施設にどの本があるか、どこから借りて

		も返却できるなどのシステムの一元化が必要だと思う。
12	②③ ④	この通りに実現することを望む。 障害を持つ人の専用の場所が欲しい。楽な姿勢を保てるソファー、点字図書、拡大した図書、音読してもらえるなどの様々な要求に答えられるスペースの確保が望ましい。
1	2. 基本理念の具現化	未来をひらく みんなの図書館 ～出会う・つながる・学びあう～ の表現をしているのであれば、 ①「未来をひらく」が上位目標となり、「以下の4項目」とするのはややおかしい。並列すべきでない。 ②「出会う・つながる・学びあう」の3項目がまるで集会所・公民館の目標のようである。また、「出会う・つながる」の主旨は同意味ではないか。なぜ2つに？ ③「（1）未来をひらく」に、「語り合ったり」「交流の場」とあるが、図書館の静かな環境をイメージすると違和感を覚える。本来、一人静かに本に親しむことが基本と思う。
2，9	郷土資料	この項があることに嬉しさを感じています。今の図書館にも多くの資料・遺物があるのに全く展示していなかったからです。“死蔵”を続けますか？ ・学芸員（研究者）を配置するのか ・どのような方法で収集・保存し、発信するのか ・「発信」とは何か。展示しないのか。「整備」とは？ ・「郷土資料」が史跡中心となっており、図書館としての「資料」といえるのか。ましては、「神功皇后」は「古代から」なのか科学性が0に等しい。新しい図書館の方向性としては残念。 ・長与の良さを示す史料、文献など図書館ならではの地域資（史）料を

		列挙し直してください。
14		展示スペースがないようですが・・・
2		何を「電子化」するのですか
1	基本理念	図書館法第2条「教養、調査研究、レクリエーション等」と目的を定義している。この目的と町の理念のずれを大きく感じる。 私としては、 知を育み、本に親しむ、探究心、好奇心に応える、長与博士をつくるなどの趣旨が欲しい。 特に住民の自己教育、知る（学ぶ）権利に応えるという点が弱いと思う。 「出会う・つながる・」では。 「住民参加」の視点がない。このワークショップはありがたいことですが、基本計画の中に、運営・選書などについて住民の意見等を入れる点が弱い。 町内の児童・生徒は学力が高く、意欲にも富む長与ならではの読書活動の仕組みづくり、読書文化向上への指針を示して欲しい。「推進します」「啓発」ではなく、図書館本来の役割としての具体像を示せないか。 全体として、これまでの図書館利用状況のデータ、貸出数の変化、利用者（年代、男女など）の変化、ニーズ、要望などが全くわからないので、このダイジェスト版の字句でしか判断できない。また、これらデータをもとに、新図書館ではどんな数値目標を掲げているのか教えていただきたい。 フロアについては見えるが、何階建てのどこに入るのか、外周の駐車

		場、ゆとりスペース、館までのアクセス方法など全くわからない。書けないのですか。 町内に多核的複合施設がないことが残念でした。多くの住民が寄り集まりたいと思い、ここで色々なことが実現できる施設になって欲しいと強く思います。 バリアフリー、ユニバーサルデザインなどが加わって汎用、多様性への対応がよく見える。ただ、21世紀的権利、地方自治体に対する住民の意思反映が0、これでいいのか。
1，18	出会う、出会い	「出会い」を国語的に理解すれば、たまたまある人と会うことを意味する。我が町の図書館は、書や新鮮情報、感動を味わうのが第一義ではなく、「出会い」を求める場とするのか。ましてや、私たちは意図を持って図書館へ行くのであって、偶然を期待する人は極めて少ないのではないか。言葉の吟味が足りない。言葉を大切にするところこそ、図書館ではないか。